

2012年1月19日
公益財団法人ヤマト福祉財団

〔道の駅よつくら港地域振興施設「交流館」復興事業〕 地鎮祭が執り行われました

2012年1月17日、「NPO法人よつくらぶ」が『道の駅よつくら港交流館』の地鎮祭を行いました。NPO法人よつくらぶは、公益財団法人ヤマト福祉財団（本部：東京都中央区、理事長：有富 慶二、以下ヤマト福祉財団）「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金」の第一次助成先のひとつです（助成金1億8000万円）。

平成21年7月にオープンしたいわき市初の道の駅『よつくら港交流館』は、地域の新鮮な農水産物を安心・安全に提供する重要拠点であり、直売所やレストランなどを有する働く場として、また地域交流の場としても、多くの地元の方に愛されていました。そんな『よつくら港交流館』も東日本大震災により機能の大半を失うことに。それでも震災直後は被災者支援を行う場所として活動を続けました。その一方、地元農水産物生産者は原発事故による農水産物の出荷停止、風評被害により窮地に追い込まれていきました。四倉町の復興ために一刻も早い交流館の改築・再開を…。

地鎮祭に訪れた多くの関係者は、津波と原発事故から立ち直る隣接地域の復興シンボルとして再生する『道の駅よつくら港交流館』に、地域振興や経済基盤の復興、雇用の拡大、流通経済の復興などを図る新拠点として大きな期待を寄せています。



かつて60万人以上の人たちが訪れた人気スポットも、津波で全壊状態に…



地鎮祭には東日本大震災 復興支援選考委員会の小泉武夫選考委員をはじめ有富理事長、多くの関係者が出席。四倉町の復興シンボルとなることを祈願しました



完成後は緊急時の一時的な避難場所、災害支援拠点としても機能します